

基本方針および施策目標の取組状況

函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(平成30年度まで)

平成30年度は、全国相互利用交通系ICカードICAS-nimocaの更なる活用として、IC定期券の運用を開始しました。その他、快適性の向上を図るため、3両の車体改良を実施しました。また、北海道胆振東部地震によるブラックアウトの影響で2日間にわたり運休しましたが、概ね財政計画どおりの乗車料金収入を確保しました。

これまでの取組(平成29年度～平成30年度)につきましては、電路の改良や停留場へのスロープ設置を実施したほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取組を進めました。また、1両の超低床車両を導入し5両の車体改良を実施したほか、ICカードの更なる活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取組を進めました。マラソンやコンサートなど、地域のイベントがある場合は増車運行を実施し、地域を支える取組を進めました。電車の利用促進に向けては、市電沿線において各戸に電車の利用を促すチラシを配布するなど収益性の向上に向けた取組を進めました。

財政計画におきましては、計画を上回る累積財源残額を確保しています。

これらの結果として、平成30年度までの交通事業経営ビジョンの取組状況は、「概ね順調」と考えています。

上段:評価件数 下段:割合

基本方針および施策目標		「B」評価以上	「A」評価	「B」評価	「C」評価	「D」評価	計
1 安全で信頼される公共交通	(1)安全性の向上	4	0	4	0	0	4
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
2 便利で快適な輸送サービスの提供	(1)快適性の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)利便性の向上	5	0	5	0	0	5
	計	7	0	7	0	0	7
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
3 まちや地域への貢献	(1)地域社会への貢献	3	0	3	0	0	3
	計	3	0	3	0	0	3
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
4 経営基盤の強化	(1)収益力の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)経営の効率化	2	0	2	0	0	2
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
合計		18	0	18	0	0	18
		100%	0%	100%	0%	0%	100%

A : 完了した・計画を上回っている

B : 概ね計画どおりに進んでいる

C : 計画を下回っている

D : 著しく計画を下回っている

## 交通事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	取組状況(H30)	これまでの取組状況(H29～H30)	評価
1 安全で信頼される公共交通	(1) 安全性の向上 (P28)	① 施設の計画的な改良・更新	深堀町～駒場車庫前間の軌道改良工事(L=300m)を発注したが、北海道胆振東部地震の影響で工期を延長し、令和元年度に工事を完了しました。	電車停留場安全地帯へのスロープ設置、電路の改良、軌道の改良、軌道分岐器の更新などを実施しました。	B
		② 運転技能向上への取組推進	立哨、添乗指導や実際の運行画像を使用した事故防止研修を実施しました。	立哨、添乗指導や事故防止研修を実施するなど、輸送の安全を確保するための取組を進めました。	B
		③ 安全管理体制の強化	運輸安全マネジメントの推進に向けて、安全方針や安全重点施策を策定し、各種訓練や研修を実施しました。また、安全管理体制を確認するために内部監査を実施しました。	安全方針や安全重点施策を策定し、訓練や研修を定期的実施するなど、運輸安全マネジメントを推進しました。	B
		④ 軌道内電車優先運行についての啓発強化	運転管理者講習会や免許証高齢者講習のほか、レンタカー会社などへ新たに英語表記を取り入れた啓発リーフレットを配布(2,850枚)しました。また、企業局だより・ラジオによる広報を実施しました。	関係機関への啓発リーフレット配布や広報活動を実施するなど、軌道内電車優先運行についての啓発に努めました。	B
2 便利で快適な輸送サービスの提供	(1) 快適性の向上 (P30)	① 車両の更新・改良	3両の車体改良を実施しました。	超低床車両1両を導入したほか、5両の車体改良を実施しました。	B
		② 職員の接客マナーの向上	お客さまから寄せられたご意見やご要望を踏まえた研修を行ったほか、インバウンド接客研修会に参加しました。	接客研修を実施したほか、インバウンド接客研修会に参加するなど、接客マナーの向上に向けた取組を進めました。	B
	(2) 利便性の向上 (P31)	① 情報発信の強化	電車内の液晶ディスプレイを利用した観光情報の発信を実施したほか、車内放送に中国語を追加しました。	電車内の液晶ディスプレイを利用した情報発信を実施したほか、車内放送の多言語化の充実を図るなど、情報発信の強化に努めました。	B
		② ICカードシステムの活用	IC定期券の運用を開始しました。	IC定期券の運用を開始し、更なる利便性の向上を図りました。(ICAS-nimocaカード 平成30年度末発行枚数 68,636枚)	B
		③ 乗客需要に見合った適切な運行本数の確保	乗客需要を把握するため、ICカードのデータ分析を実施しました。また、マラソンやコンサートなどのイベントに対応した増車運行を実施しました。	乗客需要の調査を実施したほか、繁忙期に増車運行を実施するなど、適切な運行本数の確保に努めました。	B
④ 料金体系についての調査研究	乗り継ぎ実績の調査方法を検討しました。	乗り継ぎ割引制度を導入したほか、IC定期券導入へ向け、割引率や期間などの見直しについて検討を進めました。	B		
⑤ 交通機関相互の連携強化	函館バスと連携し、IC定期券の運用を開始しました。	函館バスと連携し、ICAS-nimocaカードを導入し、乗り継ぎ割引制度を拡充しました。	B		

A：完了した・計画を上回っている

B：概ね計画どおりに進んでいる

C：計画を下回っている

D：著しく計画を下回っている

## 交通事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	取組状況(H30)	これまでの取組状況(H29～H30)	評価
3 まちや地域への貢献	(1) 地域社会への 貢献 (P32)	① 地域を支える取組の 推進	マラソンやコンサートなど地域のイベントに協力した増車運行を実施しました。	地域のイベントに協力した増車運行を実施したほか、中心市街地活性化事業により、松風町、千代台の停留場を改良するなど地域を支える取組を進めました。	B
		② 人にやさしい公共交通 へ向けた取組の推進	湯の川温泉電停の改築に向けて、警察および道路管理者との協議を行いました。	超低床車両を導入したほか、安全地帯へのスロープ設置、停留場をバリアフリー対応に改良するなど、人にやさしい公共交通へ向けた取組を進めました。	B
		③ 環境負荷の低減	関係機関と連携してノーマイカーデーなどの啓発活動を実施しました。	エネルギー効率の良い車両を導入したほか、ノーマイカーデーなどの啓発活動を実施するなど、環境負荷の低減に努めました。	B
4 経営基盤の強化	(1) 収益力の向上 (P33)	① 市電の利用促進	旅行代理店に対して、貸切運行の案内や乗車券を組み込んだ旅行商品の営業を行ったほか、車内放送に中国語を追加し、多言語化を拡充しました。また、市電沿線で利用促進に係るチラシを各戸に配付(2,000枚)しました。	旅行代理店への営業を行ったほか、車内放送の多言語化の拡充や利用促進に係るチラシを各戸に配付するなど、市電の利用促進に向けた取組を進めました。	B
		② 広告料収入の確保	広告代理店の広告料金などについて調査を実施しました。また、ゲームアプリやペーパーキットなどへの意匠許諾を行いました。	広告料金などについて調査を実施したほか、意匠許諾を行うなど、収入の確保とイメージアップに向けた取組を進めました。	B
	(2) 経営の効率化 (P34)	① コスト縮減の取組の 推進	新たな防錆塗料を車体改良に併せて試験塗布しました。また、安全性を確保した上で、軌道整備基準値を見直しました。	新たな防錆塗料の試験塗布や軌道整備基準値を見直すなど、コスト縮減の取組を進めました。	B
		② 効率的な組織づくり	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、各課の業務分析を実施しました。	他都市の民間への委託内容を調査したほか、各課の業務分析を実施するなど、効率的な組織体制の構築に努めました。	B

A：完了した・計画を上回っている

B：概ね計画どおりに進んでいる

C：計画を下回っている

D：著しく計画を下回っている

## 交通事業経営ビジョン 主要施策の取組状況

【事故防止研修】

基本方針 1 安全で信頼される  
公共交通

---

施策目標(1) 安全性の向上

---

主要施策 ② 運転技能向上への  
取組推進

---



【車体改良】

基本方針 2 便利で快適な  
輸送サービスの提供

---

施策目標(1) 快適性の向上

---

主要施策 ① 車両の更新・改良

---



【各戸へ利用促進のチラシ配布】

基本方針 4 経営基盤の強化

---

施策目標(1) 収益力の向上

---

主要施策 ① 市電の利用促進

---



(税込単位:百万円)

区 分		H29			H30			R元		
		計画	決算	比較	計画	決算	比較	計画	予算	比較
収 益 的 収 支	乗車料金収入	1,004	1,048	44	1,000	980	△ 20	1,005	998	△ 7
	一般会計繰入金	326	325	△ 1	343	331	△ 12	349	331	△ 18
	長期前受金戻入	129	122	△ 7	119	116	△ 3	103	101	△ 2
	その他	65	68	3	67	53	△ 14	68	51	△ 17
	収 入 計	1,524	1,563	39	1,529	1,480	△ 49	1,525	1,481	△ 44
	人件費	627	611	△ 16	627	618	△ 9	634	644	10
	退職給付費	48	45	△ 3	34	14	△ 20	37	33	△ 4
	物件費	549	539	△ 10	514	487	△ 27	523	509	△ 14
	支払利息	14	12	△ 2	13	11	△ 2	12	10	△ 2
	その他	357	357	0	364	352	△ 12	348	326	△ 22
	支 出 計	1,593	1,564	△ 29	1,551	1,482	△ 69	1,554	1,522	△ 32
	損 益	△69	△1	68	△22	△2	20	△29	△41	△ 12
	資 本 的 収 支	企業債	252	275	23	300	239	△ 61	378	389
国庫補助金		81	78	△ 3	42	2	△ 40	42	0	△ 42
一般会計繰入金		61	59	△ 2	32	0	△ 32	32	0	△ 32
その他		0	0	0	3	0	△ 3	45	0	△ 45
収 入 計		394	412	18	377	241	△ 136	497	389	△ 108
建設改良費		402	420	18	378	241	△ 137	497	397	△ 100
企業債償還金		148	148	0	152	152	0	152	152	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計		550	568	18	530	393	△ 137	649	549	△ 100
資本的収支不足額		△156	△156	0	△153	△152	1	△152	△160	△ 8
補 て ん 財 源	228	221	△ 7	235	196	△ 39	256	227	△ 29	
当年度財源過不足額	3	64	61	59	42	△ 17	75	26	△ 49	
累 積 財 源 残 額	286	387	101	345	429	84	420	455	35	

(注) 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

(注) R元予算における累積財源残額については、H30決算の累積財源残額に当年度財源過不足額を加えて算出しています。

交通事業経営ビジョンにおける主要施策の取組等に対するご意見

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見
1 安全で信頼される公共交通	(1)安全性の向上(P28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の計画的な改良・更新</li> <li>②運転技能向上への取組推進</li> <li>③安全管理体制の強化</li> <li>④軌道内電車優先運行についての啓発強化</li> </ul>	
2 便利で快適な輸送サービスの提供	(1)快適性の向上(P30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①車両の更新・改良</li> <li>②職員の接客マナーの向上</li> </ul>	
	(2)利便性の向上(P31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報発信の強化</li> <li>②ICカードシステムの活用</li> <li>③乗客需要に見合った適切な運行本数の確保</li> <li>④料金体系についての調査研究</li> <li>⑤交通機関相互の連携強化</li> </ul>	
3 まちや地域への貢献	(1)地域社会への貢献(P32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域を支える取組の推進</li> <li>②人にやさしい公共交通へ向けた取組の推進</li> <li>③環境負荷の低減</li> </ul>	
4 経営基盤の強化	(1)収益力の向上(P33)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市電の利用促進</li> <li>②広告料収入の確保</li> </ul>	
	(2)経営の効率化(P34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コスト削減の取組の推進</li> <li>②効率的な組織づくり</li> </ul>	